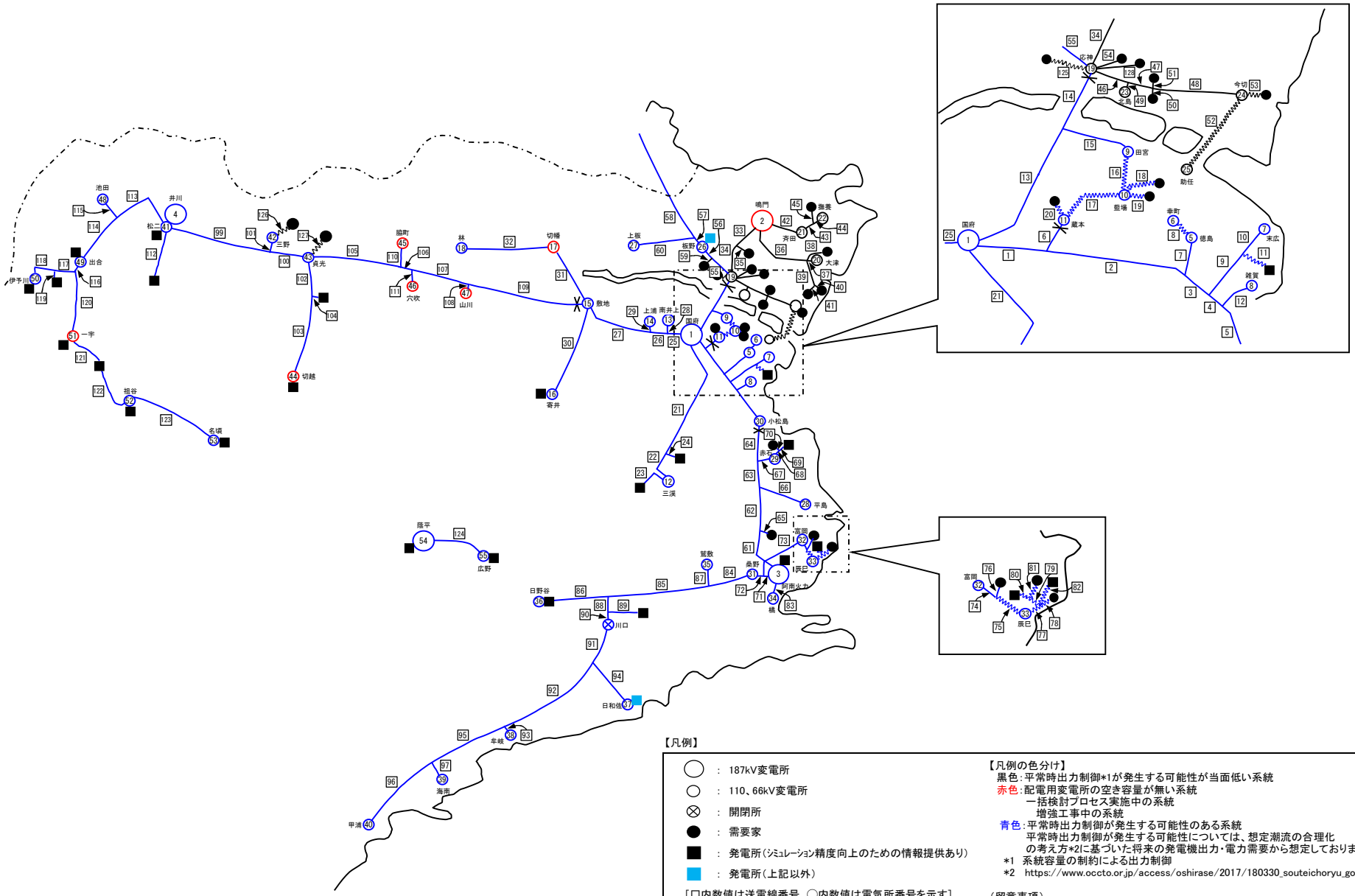
[四国エリアの送電系統(66kV,110kV以下の特高系統)]

徳 島 県

【2026年11月1日更新】



【凡例】

- ○ : 187kV変電所
- ○ : 110、66kV変電所
- ⊗ : 開閉所
- ● : 需要家
- ■ : 発電所(シミュレーション精度向上のための情報提供あり)
- ■ : 発電所(上記以外)

[□内数値は送電線番号、○内数値は電気所番号を示す]

- ——— : 110、66kV送電線
- ——— : 22kV送電線

(WWWW は地中線を表す)

【凡例の色分け】

黒色:平常時出力制御*1が発生する可能性が当面低い系統

赤色:配電用変電所の空き容量が無い系統
一括検討プロセス実施中の系統
増強工事中の系統

青色:平常時出力制御が発生する可能性のある系統
平常時出力制御が発生する可能性については、想定潮流の合理化の考え方*2に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定しております。

*1 系統容量の制約による出力制御

*2 https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourika_shiryou.html

(留意事項)

今後の増強工事等を反映した設備がある場合、工事等の完了までの間は記載内容と異なる場合があります。
対象設備については一覧表の備考欄をご確認ください。

転載禁止　四国電力送配電株式会社

【留意事項】

(1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。
※1 1回線送電線（1バンク運用）のため1回線（1バンク）設備容量を記載
※2 4回線送電線（4バンク運用）のため1回線（1バンク）故障時を考慮し3回線（3バンク）分の容量を記載

(2) 空容量は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。

(3) 原則として熱容量に基づく空容量を記載しております。その他の要因（電圧や系統安定度など）で連系制約が発生する場合があります。

(4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。なお、N-1電制は費用便益評価により設置判断されるため、N-1電制適用可であっても、設置されるとは限りません。また、適用不可の場合の理由は以下のとおりです。
＃1 1回線送電線のため
＃2 配電用変電所のため
＃3 2回線送電線の分割運用等のため

(5) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量（上位系考慮なし）の目安を記載しております。

(6) 平常時出力制御が必要となりうる設備欄は、平常時出力制御が発生する可能性について、想定潮流の合理化の考え方＊に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定し、該当設備を記載しております。
＊https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourika_shiryou.html

(7) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。

(8) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。

(9) 既設電源アクセス線に新規電源が連系する際、系統増強が必要になる場合があります。詳細については、系統アクセス検討の中でお示しします。
※電力広域的運営推進機関が公表している「系統の接続および利用ルールについて～ノンファーム型接続～＊」でも、新規電源連系時のアクセス線等の取扱いが整理されています。
＊https://www.occto.or.jp/grid/business/setsuzoku.html#non-firm

(10) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。

(11) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量値、Ｎ－１電制適用可否、Ｎ－１電制適用可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。

(12) 潮流値は、アップ潮流最大時の潮流を現時点で想定される条件において算出したものであり、実際の潮流値と異なる可能性があります。

(13) 個別需要が分かる専用線等や電源が1ユニットのみの電源線については第三者情報を排除するよう加工処理をしております。

(14) 予想潮流の数値は、潮流方向に記載している向きを正数として記載しています。また、変圧器予想潮流の数値は、高圧側から低圧側に流れる方向を正数として記載しております。

(15) 当社の公開する系統アクセス情報を利用される方が本情報を用いて行う一切の行為について、当社は責任を負いません。

(16) ノンファーム型接続適用外の設備には、備考欄に“●”を記載しております。

送電線No	送電線名	電圧(kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	潮流方向	予想潮流 (MW)	空容量(MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	平常時 出力制御の 可能性	平常時出力制御の可能性がある設備		備考
									当該設備	上位系統考慮				当該設備	上位系設備	
1	小松島線	66	4	520	390	熱容量	変1→変30	-93	ー	ー	可	130	有り	ー	基変8	※2
2	小松島線	66	4	520	390	熱容量	変1→変30	-93	ー	ー	可	130	有り	ー	基変8	※2
3	小松島線	66	4	264	264	熱容量	変1→変30	-91	ー	ー	可	0	有り	ー	基変8	※2
4	小松島線	66	4	264	198	熱容量	変1→変30	-23	ー	ー	可	66	有り	ー	基変8	※2
5	小松島線	66	4	264	198	熱容量	変1→変30	-8	ー	ー	可	66	有り	ー	基変8	※2
6	蔵本支線	66	2	130	65	熱容量	変1→変11	0	ー	ー	不可＃3	ー	有り	ー	基変8	※1
7	徳島支線	66	4	292	219	熱容量	変1→変5	-2	ー	ー	可	73	有り	ー	基変8	※2
8	徳島幸町線	66	2	66	33	熱容量	変5→変6	2	ー	ー	不可＃3	ー	有り	ー	基変8	※1
9	末広支線	66	2	240	120	熱容量	変1→変7	-69	ー	ー	可	120	有り	ー	基変8	※1
10	末広支線	66	2	208	104	熱容量	変1→変7	-69	ー	ー	可	104	有り	ー	基変8	※1
11	電源線	66	1	ー	ー	熱容量	ー	ー	ー	ー	ー	ー	有り	ー	基変8	◇
12	雑賀支線	66	2	130	65	熱容量	変1→変8	-9	ー	ー	可	65	有り	ー	基変8	※1
13	応神東線	66	2	296	148	熱容量	変1→変19	-6	ー	ー	可	148	有り	ー	基変8	
14	応神東線	66	2	270	135	熱容量	変1→変19	0	ー	ー	不可＃3	ー	有り	ー	基変8	※1
15	田宮支線	66	2	250	125	熱容量	変1→変9	-6	ー	ー	可	125	有り	ー	基変8	
16	田宮藍場線	66	2	182	91	熱容量	変9→変10	-4	ー	ー	不可＃3	ー	有り	ー	基変8	※1
17	蔵本藍場線	66	2	70	35	熱容量	変10→変11	-6	ー	ー	不可＃3	ー	有り	ー	基変8	※1
18	需要家線	66	2	ー	ー	熱容量	ー	ー	ー	ー	ー	ー	有り	ー	基変8	◇
19	需要家線	66	2	ー	ー	熱容量	ー	ー	ー	ー	ー	ー	有り	ー	基変8	◇
20	需要家線	66	2	ー	ー	熱容量	ー	ー	ー	ー	ー	ー	有り	ー	基変8	◇
21	三渓線	66	1	32	32	熱容量	変1→変12	-31.8	ー	ー	不可＃1	ー	有り	ー	基変8	※1
22	三渓線	66	1	32	32	熱容量	変1→変12	-31.8	ー	ー	不可＃1	ー	有り	ー	基変8	※1
23	電源線	66	1	ー	ー	熱容量	ー	ー	ー	ー	ー	ー	有り	ー	基変8	◇
24	電源線	66	1	ー	ー	熱容量	ー	ー	ー	ー	ー	ー	有り	ー	基変8	◇
25	国府線	66	2	394	225	熱容量	変1→変15	-219	ー	ー	可	169	有り	ー	基変8	
26	国府線	66	2	250	143	熱容量	変1→変15	-208	ー	ー	可	42	有り	対象	基変8	
27	国府線	66	2	250	143	熱容量	変1→変15	-177	ー	ー	可	73	有り	対象	基変8,送26	
28	南井上支線	66	2	172	86	熱容量	変1→変13	-12	ー	ー	可	86	有り	ー	基変8	※1
29	上浦支線	66	2	64	32	熱容量	変1→変14	-31	ー	ー	可	32	有り	ー	基変8,送26	
30	寄井線	66	2	64	38	熱容量	変15→変16	-36	ー	ー	可	26	有り	ー	基変8,送26,27	
31	切幡線	66	2	182	100	熱容量	変15→変17	-106	ー	ー	可	76	有り	対象	基変8,送26,27	
32	林線	66	2	172	86	熱容量	変17→変18	-55	ー	ー	可	86	有り	ー	基変8,送26,27,31	
33	応神線	66	4	788	591	熱容量	変2→変19	-210	ー	ー	可	197	ー	ー	ー	※2
34	応神線	66	4	788	591	熱容量	変2→変19	-210	ー	ー	可	197	ー	ー	ー	※2
35	需要家線	66	2	ー	ー	熱容量	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	◇
36	大津線	66	2	250	125	熱容量	変2→変20	-4	ー	ー	可	125	ー	ー	ー	※1
37	大津線	66	2	172	86	熱容量	変2→変20	-4	ー	ー	可	86	ー	ー	ー	※1
38	需要家線	66	1	ー	ー	熱容量	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	◇
39	需要家線	66	1	42	42	熱容量	変2→需要家	0	ー	ー	不可＃1	ー	ー	ー	ー	※1
40	需要家線	66	1	ー	ー	熱容量	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	◇
41	需要家線	66	1	ー	ー	熱容量	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	◇
42	斉田線	66	2	144	72	熱容量	変2→変21	-71.2	ー	ー	可	72	ー	ー	ー	
43	撫養線	66	2	64	32	熱容量	変21→変22	-10	ー	ー	不可＃3	ー	ー	ー	ー	※1
44	撫養線	66	2	64	32	熱容量	変21→変22	-10	ー	ー	不可＃3	ー	ー	ー	ー	※1
45	需要家線	66	1	ー	ー	熱容量	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	◇
46	今切線	66	2	394	197	熱容量	変19→変24	-16	ー	ー	可	197	ー	ー	ー	
47	今切線	66	2	394	197	熱容量	変19→変24	-14	ー	ー	可	197	ー	ー	ー	
48	今切線	66	2	394	197	熱容量	変19→変24	-14	ー	ー	可	197	ー	ー	ー	
49	北島支線	66	2	66	33	熱容量	変19→変23	-3	ー	ー	可	33	ー	ー	ー	※1
50	需要家線	66	2	ー	ー	熱容量	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	◇
51	需要家線	66	2	ー	ー	熱容量	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	◇
52	今切助任線	66	2	82	41	熱容量	変24→変25	1	ー	ー	不可＃3	ー	ー	ー	ー	※1
53	需要家線	66	1	ー	ー	熱容量	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	◇
54	需要家線	66	2	ー	ー	熱容量	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	◇
55	板野線	66	2	248	130	熱容量	変19→変26	-186	ー	ー	可	62	有り	対象	ー	
56	板野線	66	2	248	130	熱容量	変19→変26	-186	ー	ー	可	62	有り	対象	送55	
57	板野大内線	66	2	206	103	熱容量	変26→香川変29	-94	ー	ー	可	103	有り	ー	送55,56	※1

送電線No	送電線名	電圧(kV)	回線数	設備容量(100%×回線数)(MW)	運用容量値(MW)	運用容量制約要因	潮流方向	予想潮流(MW)	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量(MW)	平常時出力制御の可能性	平常時出力制御の可能性がある設備		備考
									当該設備	上位系統考慮				当該設備	上位系設備	
58	板野大内線	66	2	206	103	熱容量	変26→香川変29	-60	－	－	可	103	有り	－	送55,56	※1
59	需要家線	66	1	－	－	熱容量	－	－	－	－	－	－	－	－	－	◇
60	上板支線	66	2	130	65	熱容量	変26→変27	-34	－	－	可	65	有り	－	送55,56	※1
61	阿南小松島線	66	2	380	190	熱容量	変3→変30	-60	－	－	可	190	有り	－	基変10	
62	阿南小松島線	66	2	394	197	熱容量	変3→変30	-60	－	－	可	197	有り	－	基変10	
63	阿南小松島線	66	2	394	197	熱容量	変3→変30	-47	－	－	可	197	有り	－	基変10	
64	阿南小松島線	66	2	394	197	熱容量	変3→変30	0	－	－	不可＃3	－	有り	－	基変10	
65	需要家線	66	2	－	－	熱容量	－	－	－	－	－	－	有り	－	基変10	◇
66	平島支線	66	2	172	86	熱容量	変3→変28	-14	－	－	可	86	有り	－	基変10	※1
67	赤石支線	66	2	98	55	熱容量	変3→変29	-47	－	－	可	43	有り	－	基変10	
68	電源線	66	1	42	42	熱容量	変29→電源	-26	－	－	不可＃1	－	有り	－	基変10	※1
69	電源線	66	1	－	－	熱容量	－	－	－	－	－	－	有り	－	基変10	◇
70	需要家線	66	1	－	－	熱容量	－	－	－	－	－	－	有り	－	基変10	◇
71	桑野線	66	2	498	249	熱容量	変3→変31	-262	－	－	可	236	有り	対象	基変10	
72	桑野線	66	2	250	130	熱容量	変3→変31	-127	－	－	可	123	有り	－	基変10,送71	
73	富岡支線	66	2	382	200	熱容量	変3→変32	-136	－	－	可	182	有り	－	基変10,送71	
74	辰巳線	66	2	330	192	熱容量	変32→変33	-125	－	－	可	138	有り	－	基変10,送71	
75	辰巳線	66	2	170	85	熱容量	変32→変33	-125	－	－	可	85	有り	－	基変10,送71	
76	需要家線	66	1	－	－	熱容量	－	－	－	－	－	－	有り	－	基変10,送71	◇
77	需要家線	66	2	246	123	熱容量	変33→需要家	-70	－	－	不可＃3	－	有り	－	基変10,送71	※1
78	需要家線	66	2	－	－	熱容量	－	－	－	－	－	－	有り	－	基変10,送71	◇
79	電源線	66	1	12	12	熱容量	変33→電源	-6	－	－	不可＃1	－	有り	－	基変10,送71	※1
80	電源線	66	1	－	－	熱容量	－	－	－	－	－	－	有り	－	基変10,送71	◇
81	需要家線	66	1	－	－	熱容量	－	－	－	－	－	－	有り	－	基変10,送71	◇
82	電源線	66	1	－	－	熱容量	－	－	－	－	－	－	有り	－	基変10,送71	◇
83	橘線	66	2	38	19	熱容量	変3→変34	-4	－	－	不可＃3	－	有り	－	基変10	※1
84	日野谷線	66	2	102	67	熱容量	変31→変36	-117	－	－	可	0	有り	対象	基変10,送71	
85	日野谷線	66	2	102	67	熱容量	変31→変36	-116	－	－	可	0	有り	対象	基変10,送71,84	
86	日野谷線	66	2	102	67	熱容量	変31→変36	-64	－	－	可	35	有り	－	基変10,送71,84,85	
87	鷲敷支線	66	2	84	42	熱容量	変31→変35	-3	－	－	可	42	有り	－	基変10,送71,84	※1
88	川口線	66	2	78	43	熱容量	変31→川口開閉所	-52	－	－	可	26	有り	対象	基変10,送71,84,85	
89	電源線	66	2	－	－	熱容量	－	－	－	－	－	－	有り	－	基変10,送71,84,85,88	◇
90	川口連絡線	66	2	116	58	熱容量	変31→川口開閉所	-52	－	－	可	58	有り	－	基変10,送71,84,85,88	
91	牟岐線	66	2	116	58	熱容量	川口開閉所→変40	-34	－	－	可	58	有り	－	基変10,送71,84,85,88	
92	牟岐線	66	2	116	58	熱容量	川口開閉所→変40	-8	－	－	可	58	有り	－	基変10,送71,84,85,88	
93	牟岐線	66	2	116	58	熱容量	川口開閉所→変38	-3	－	－	可	58	有り	－	基変10,送71,84,85,88	
94	日和佐支線	66	2	64	32	熱容量	川口開閉所→変37	-30	－	－	可	32	有り	－	基変10,送71,84,85,88	※1
95	甲浦支線	66	2	84	42	熱容量	川口開閉所→変40	-6	－	－	可	42	有り	－	基変10,送71,84,85,88	※1
96	甲浦支線	66	2	84	42	熱容量	川口開閉所→変40	-3	－	－	可	42	有り	－	基変10,送71,84,85,88	※1
97	海南支線	66	2	64	32	熱容量	川口開閉所→変39	-3	－	－	可	32	有り	－	基変10,送71,84,85,88	※1
99	貞光線	66	2	250	125	熱容量	変41→変43	-102	－	－	可	125	有り	－	基変12	
100	貞光線	66	2	250	125	熱容量	変41→変43	-79	－	－	可	125	有り	－	基変12	
101	三野支線	66	2	86	43	熱容量	変41→変42	-23	－	－	可	43	有り	－	基変12	※1
102	切越線	66	1	32	32	熱容量	変43→変44	-8	－	－	不可＃1	－	有り	－	基変12	※1
103	切越線	66	1	32	32	熱容量	変43→変44	-8	－	－	不可＃1	－	有り	－	基変12	※1
104	電源線	66	1	－	－	熱容量	－	－	－	－	－	－	有り	－	基変12	◇
105	敷地線	66	2	250	125	熱容量	変43→変15	-43	－	－	可	125	有り	－	基変12	
106	敷地線	66	2	182	91	熱容量	変43→変15	-18	－	－	可	91	有り	－	基変12	
107	敷地線	66	2	182	91	熱容量	変43→変15	-11	－	－	不可＃3	－	有り	－	基変12	
108	敷地線	66	2	172	86	熱容量	変43→変15	-11	－	－	不可＃3	－	有り	－	基変12	
109	敷地線	66	2	182	91	熱容量	変43→変15	0	－	－	不可＃3	－	有り	－	基変12	
110	脇町支線	66	2	60	30	熱容量	変43→変45	-25	－	－	可	30	有り	－	基変12	
111	穴吹支線	66	2	172	86	熱容量	変43→変46	-8	－	－	可	86	有り	－	基変12	※1
112	電源線	66	1	－	－	熱容量	－	－	－	－	－	－	有り	－	基変12	◇
113	松尾線	66	2	64	36	熱容量	変41→変49	-45	－	－	可	19	有り	対象	基変12	
114	松尾線	66	2	130	72	熱容量	変41→変49	-42	－	－	可	58	有り	－	基変12,送113	
115	池田支線	66	2	130	65	熱容量	変41→変48	-3	－	－	可	65	有り	－	基変12,送113	

送電線No	送電線名	電圧（kV）	回線数	設備容量（100%×回線数）（MW）	運用容量値（MW）	運用容量制約要因	潮流方向	予想潮流（MW）	空容量（MW）		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量（MW）	平常時出力制御の可能性	平常時出力制御の可能性がある設備		備考
									当該設備	上位系統考慮				当該設備	上位系設備	
116	出合線	66	2	64	36	熱容量	変49→変51	-29	－	－	可	28	有り	－	基変12,送113	
117	出合線	66	2	64	32	熱容量	変49→変50	-7	－	－	不可＃3	－	有り	－	基変12,送113	※1
118	出合線	66	2	64	32	熱容量	変49→変50	-7	－	－	不可＃3	－	有り	－	基変12,送113	※1
119	電源線	66	2	－	－	熱容量	－	－	－	－	－	－	有り	－	基変12,送113	◇
120	一宇線	66	2	64	36	熱容量	変49→変51	-22	－	－	可	28	有り	－	基変12,送113	
121	高野線	66	1	32	32	熱容量	変51→変52	-13	－	－	不可＃1	－	有り	－	基変12,送113	※1
122	祖谷線	66	1	32	32	熱容量	変51→変52	-13	－	－	不可＃1	－	有り	－	基変12,送113	※1
123	名頃線	66	1	24	24	熱容量	変52→変53	-2	－	－	不可＃1	－	有り	－	基変12,送113	※1
124	広野線	66	1	58	58	熱容量	変54→変55	-39	－	－	不可＃1	－	有り	－	基変11	※1
125	需要家線	22	1	－	－	熱容量	－	－	－	－	－	－	－	－	－	◇●
126	需要家線	22	1	－	－	熱容量	－	－	－	－	－	－	有り	－	基変12	◇●
127	需要家線	22	1	－	－	熱容量	－	－	－	－	－	－	有り	－	基変12	◇●
128	需要家線	22	1	－	－	熱容量	－	－	－	－	－	－	－	－	－	◇●

変電所No	変電所名	電圧(kV)		台数	設備容量 (100%×台数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	予想潮流 (MW)	空容量(MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	平常時 出力制御の 可能性	平常時出力制御の可能性がある設備		備考
		一次	二次						当該設備	上位系統考慮				当該設備	上位系設備	
1	国府変電所	66	6.6	3	52	52	熱容量	―	30	―	不可＃2	―	有り	―	基変8	●
2	鳴門変電所	66	6.6	1	19	19	熱容量	―	0	―	不可＃2	―	―	―	―	※1●
5	徳島変電所	66	6.6	3	66	66	熱容量	―	60	―	不可＃2	―	有り	―	基変8	●
6	幸町変電所	66	6.6	2	57	57	熱容量	―	57	―	不可＃2	―	有り	―	基変8	●
7	末広変電所	66	6.6	3	52	52	熱容量	―	49	―	不可＃2	―	有り	―	基変8	●
8	雑賀変電所	66	6.6	3	52	52	熱容量	―	37	―	不可＃2	―	有り	―	基変8	●
9	田宮変電所	66	6.6	2	33	33	熱容量	―	29	―	不可＃2	―	有り	―	基変8	●
10	藍場変電所	66	6.6	2	47	47	熱容量	―	47	―	不可＃2	―	有り	―	基変8	●
11	蔵本変電所	66	6.6	3	47	47	熱容量	―	41	―	不可＃2	―	有り	―	基変8	●
12	三渓変電所	66	6.6	2	14	14	熱容量	―	12	―	不可＃2	―	有り	―	基変8,送21	●
13	南井上変電所	66	6.6	1	19	19	熱容量	―	7	―	不可＃2	―	有り	―	基変8	※1●
14	上浦変電所	66	6.6	3	33	33	熱容量	―	2	―	不可＃2	―	有り	―	基変8,送26	●
15	敷地変電所	66	6.6	3	42	42	熱容量	―	7	―	不可＃2	―	有り	―	基変8,送26,27	●
16	寄井変電所	66	6.6	2	16	16	熱容量	―	15	―	不可＃2	―	有り	―	基変8,送26,27	●
17	切幡変電所	66	6.6	3	49	49	熱容量	―	0	―	不可＃2	―	有り	―	基変8,送26,27,31	●
18	林変電所	66	6.6	3	57	57	熱容量	―	2	―	不可＃2	―	有り	―	基変8,送26,27,31	●
19	応神変電所	66	6.6	3	52	52	熱容量	―	44	―	不可＃2	―	―	―	―	●
19	応神変電所	66	22	2	19	19	熱容量	0	―	―	不可＃2	―	―	―	―	
20	大津変電所	66	6.6	2	38	38	熱容量	―	34	―	不可＃2	―	―	―	―	●
21	斉田変電所	66	6.6	2	33	33	熱容量	―	26	―	不可＃2	―	―	―	―	●
22	撫養変電所	66	6.6	3	26	26	熱容量	―	14	―	不可＃2	―	―	―	―	●
23	北島変電所	66	6.6	1	14	14	熱容量	―	11	―	不可＃2	―	―	―	―	※1●
24	今切変電所	66	6.6	3	57	57	熱容量	―	44	―	不可＃2	―	―	―	―	●
25	助任変電所	66	6.6	2	47	47	熱容量	―	47	―	不可＃2	―	―	―	―	●
26	板野変電所	66	6.6	3	42	42	熱容量	―	2	―	不可＃2	―	有り	―	送55,56	●
27	上板変電所	66	6.6	3	52	52	熱容量	―	5	―	不可＃2	―	有り	―	送55,56	● 増強計画考慮(2026/12運開予定)
28	平島変電所	66	6.6	3	38	38	熱容量	―	17	―	不可＃2	―	有り	―	基変10	●
29	赤石変電所	66	6.6	3	38	38	熱容量	―	17	―	不可＃2	―	有り	―	基変10	●
30	小松島変電所	66	6.6	2	38	38	熱容量	―	30	―	不可＃2	―	有り	―	基変8	●
31	桑野変電所	66	6.6	2	38	38	熱容量	―	17	―	不可＃2	―	有り	―	基変10,送71	●
32	富岡変電所	66	6.6	2	38	38	熱容量	―	27	―	不可＃2	―	有り	―	基変10,送71	●
33	辰巳変電所	66	6.6	1	19	19	熱容量	―	9	―	不可＃2	―	有り	―	基変10,送71	※1●
34	橘変電所	66	6.6	2	16	16	熱容量	―	11	―	不可＃2	―	有り	―	基変10	●
35	鷲敷変電所	66	6.6	2	14	14	熱容量	―	10	―	不可＃2	―	有り	―	基変10,送71,84	●
36	日野谷変電所	66	6.6	2	12	12	熱容量	―	10	―	不可＃2	―	有り	―	基変10,送71,84,85	●
37	日和佐変電所	66	6.6	2	14	14	熱容量	―	13	―	不可＃2	―	有り	―	基変10,送71,84,85,88	●
38	牟岐変電所	66	6.6	2	14	14	熱容量	―	11	―	不可＃2	―	有り	―	基変10,送71,84,85,88	●
39	海南変電所	66	6.6	2	19	19	熱容量	―	16	―	不可＃2	―	有り	―	基変10,送71,84,85,88	●
40	甲浦変電所	66	6.6	2	12	12	熱容量	―	8	―	不可＃2	―	有り	―	基変10,送71,84,85,88	●
41	松尾川第二変電所	66	6.6	2	28	28	熱容量	―	16	―	不可＃2	―	有り	―	基変12	●
42	三野変電所	66	6.6	3	42	42	熱容量	―	4	―	不可＃2	―	有り	―	基変12	●
42	三野変電所	66	22	1	―	―	熱容量	―	―	―	―	―	有り	―	基変12	◇●
43	貞光変電所	66	6.6	2	33	33	熱容量	―	12	―	不可＃2	―	有り	―	基変12	●
43	貞光変電所	66	22	1	―	―	熱容量	―	―	―	―	―	有り	―	基変12	◇
44	切越変電所	66	6.6	1	2	2	熱容量	―	0	―	不可＃2	―	有り	―	基変12	※1●
45	脇町変電所	66	6.6	3	26	26	熱容量	―	0	―	不可＃2	―	有り	―	基変12	●
46	穴吹変電所	66	6.6	1	7	7	熱容量	―	0	―	不可＃2	―	有り	―	基変12	※1●
47	山川変電所	66	6.6	2	21	21	熱容量	―	0	―	不可＃2	―	有り	―	基変12	●
48	池田変電所	66	6.6	2	28	28	熱容量	―	24	―	不可＃2	―	有り	―	基変12,送113	●
49	出合変電所	66	6.6	1	7	7	熱容量	―	7	―	不可＃2	―	有り	―	基変12,送113	※1●
50	伊予川変電所	66	6.6	1	4	4	熱容量	―	3	―	不可＃2	―	有り	―	基変12,送113	※1●
51	一宇変電所	66	6.6	1	2	2	熱容量	―	0	―	不可＃2	―	有り	―	基変12,送113	※1●
52	祖谷変電所	66	6.6	1	1	1	熱容量	―	0.9	―	不可＃2	―	有り	―	基変12,送113	※1●
53	名頃変電所	66	6.6	1	2	2	熱容量	―	2	―	不可＃2	―	有り	―	基変12,送113	※1●
55	広野変電所	66	6.6	2	11	11	熱容量	―	2	―	不可＃2	―	有り	―	基変11	※1●